

第2学年 竹組

算数科『3のだん，4のだんの九九』

指導者 杉山 徳子 (T1)
佐々木 智子 (T2)
伊藤 亙 (T3)

1. 日時 11月10日(金) 2校時(9:20～10:05)

2. ねらい 問題作りを通して、乗法の意味や5，2，3，4の段の理解を深める。

3. 本時の実際

時 間	学習活動と予想される児童の反応	教師の支援及び評価 (◎評価)	センターの先生の支援
9:20	1. 教科書19ページの絵を見て、 2×4 になりそうな問題を探し問題を作る。	・場面を捉えやすいように拡大した絵を用意する。	・挨拶と自己紹介をする。
9:30	2. めあてを確認する。 絵を見て、いろいろなかけざんのもんだいをつくろう。 3. 教科書の絵から、かけ算の式になる問題をつくる。 4. 自分で考えたかけ算の式になる問題をつくる。	・問題を作る時に大事な言葉を確認する。 「1つ分の数」 「いくつ分」 「たずねていることば」 ☆じっくりコース (T2) ☆どんどんコース (T1) ・問題が書けない子どもには、問題作りで大事な言葉を一緒に確認する。 ・3問すべてできた子どもには、チャレンジコースへ進むように促す。 ◎かけ算の式になる問題文を作ることができる。 (ノート、観察)	☆チャレンジコース (T3) ・児童の作った問題を見て、必要な数字や適切な言葉がきちんと使われているかチェックする。 ・問題を見せに来た児童に対して賞賛したり、助言を与えたりする。
10:00	5. 本時の振り返りをする。	・がんばりが認められる子どもの振り返りを選び、発表の指名をする。	・かけ算の有用性について紹介する。

